

「佐竹史料館改築基本計画案（骨子）」  
に対する意見募集の結果について

1 意見の募集期間

令和4年1月17日(月)から2月7日(月)まで

2 意見の募集方法

パブリックコメント、市民100人会への意見公募

3 意見の提出状況

(1) 意見者数 15名（うち市民100人会 7名）

(2) 意見数 47件（うち市民100人会17件）

No	項目	ご意見の概要	市の考え方・対応
1	基本理念	内堀には文化施設が集まっていて、たくさんの方がいる状態。佐竹史料館もただの箱として活用されるのではなく、継続して千秋公園内で注目を集めるデザインされた建築／場所になってほしい。	いただいたご意見を踏まえ、久保田城跡・千秋公園を関連する歴史資料とともに一体的に保存・継承していくことで、歴史観光資源としての千秋公園の魅力を高め、博物館機能の強化、観光振興、にぎわいづくりの推進に取り組んでまいります。
2	基本理念	歴史ある史料を展示するので、史料を見に来るのが目的の人以外（史料館を認知していない人）でも気軽に入れて、展示を見る以外のこと（カフェや休憩）もできる空間にしてほしい。そこからわかりやすい動線で展示室に誘導して史料館の存在を認知させることで若者の史料館の認知度向上につながると思う。ただ史料を展示する空間にはしてほしい。	いただいたご意見を踏まえ、歴史をテーマとした博物館機能を基本としながら、千秋公園全体を見据えた観光振興、にぎわいづくりを推進するため、休憩場所やショップの機能を盛り込むとともに、動線やレイアウトに留意した計画としてまいります。
3	基本理念	これまで何度か訪れている佐竹史料館が新しくなるということは、秋田市の駅周辺の活性化につながると思うので、大変良いことだと思います。	
4	基本理念	施設の名称については、新聞で出ていたように三つの施設を合わせて千秋歴史博物館という名称にするよりも、伝統があり市民にも馴染みのある現在のそれぞれの名称を引き続き使うほうが、混乱もなく案内もしやすいのではないかと思います。 三つの施設が一体的に、千秋公園全体を見据えた博物館機能強化、観光振興、にぎわいづくりを推進していく考え方には賛成です。	計画では、三つの施設の連携を合わせて一つの名称をつける考え方から、三つの施設の連携強化を図り、一体的に、千秋公園全体を見据えた博物館機能の強化、観光振興、にぎわいづくりを推進していく考え方に変更しております。

No	項目	ご意見の概要	市の考え方・対応
5	基本理念	施設名称について 佐竹史料館以外の各施設や千秋公園、また、芸術文化ゾーンも含めた全体を市内の案内図やパンフレットにのせて分かりやすくできる様に、エリア全体の名称をつけるかどうか。 千秋公園からの流入を狙うと言っているが、全体の名前をつけて、その中の施設であると認知してもらった方がエリア全体としてのにぎわいが増す。案内図や、パンフレットに番号をつけて、その番号の看板を施設入口においておくことで統一性ができるのでは。	千秋公園や、芸術文化ゾーンも含めたエリア全体に名称をつけることについては、佐竹史料館も含めた各施設間の連携強化を図っていく中で検討してまいります。
6	基本理念	久保田城と千秋公園、さらに佐竹史料館が一体化されたゾーンになり、魅力ある観光地に変貌しそうで期待できる。	
7	基本理念	市内の小学校は課外授業に取り入れて活用してもらいたい。	関連の文化施設と連携を図り、学校教育における校外学習等に、より適した施設となるよう検討してまいります。
8	基本理念	施設名称について 源姓佐竹史料館、佐竹義宣館	施設名称については、いただいたご意見を参考とさせていただき、現在の佐竹史料館を基本に検討してまいります。
9	施設機能	現在の佐竹史料館は暗く静かで入りにくい印象、よりオープンで明るくセンスの良い施設になると良い。	いただいたご意見を踏まえ、歴史をテーマとした博物館機能を基本としながら、オープンで明るい施設や空間となるよう設計を行ってまいります。
10	施設機能	公園内にあるということで、資料展示のみならずセレクトショップや飲食物、フリースペースの提供のある気軽に立ち寄れる場所になってほしい。	いただいたご意見を踏まえ、歴史をテーマとした博物館機能を基本としながら、休憩場所やショップの機能を盛り込んだ計画としてまいります。
11	施設機能	若者も気軽に立ち寄れるような明るくカッコいい素敵な感じにしてほしい。	No.9に同じ。
12	施設機能	単に資料館としての機能だけでなく、ショップやカフェスペースなどがあれば良いと思う。	No.10に同じ。
13	施設機能	軽食が行えるスペースが欲しい。	No.10に同じ。
14	施設機能	おしゃれなインテリアなどで明るい空間になるといいと思う。	No.9に同じ。
15	施設機能	学生が気軽に利用できるスペースになってほしい。	歴史をテーマとした博物館機能を基本としながら、いただいたご意見を参考に検討してまいります。
16	施設機能	明るくてカッコよく、デザイン性の高い建物ととしてほしい。未来につながる建築物としてほしいと思います。	No.9に同じ。
17	施設機能	例えば、子どもや学生が気軽に入れるスペースを設けて、文化に触れるきっかけにしたり、ショップでコーヒーやサンドイッチも提供したりオシャレなグッズを販売するなど、市民が行きたくなるきっかけ作りも同時に必要ではないか。	No.10に同じ。

No	項目	ご意見の概要	市の考え方・対応
18	施設機能	デザイン性を重要視してほしい。 佐竹史料館リニューアルによる話題以外の方面からの話題性や全国的な認知度にもつながるものではないか。	No.15に同じ。
19	施設機能	いろいろな方面からのアクセスがあるのはいいと思うが、そのアクセスを庇による効果やランドスケープ的に合流させて（アプローチの集約）メインエントランスを大きく設ける方が見た人の印象に残るのではないか。	メインエントランス以外の出入口については、来館者の利便性、バリアフリー対応のほか、防災の観点などから、設置場所、利活用方法について、今後、検討してまいります。
20	施設機能	最低でも出入り口から受け付けまで点字ブロックが必要である。館内案内は人的補助でも可能。触地図と、トイレなどは点字の案内も欲しい。	施設内部は、ユニバーサルデザインを採用し、館内の動線やトイレなどのほか、展示の鑑賞、解説においてもバリアフリーに留意するなど、誰もが気軽に訪れることができる施設を目指してまいります。
21	施設機能	授乳、おむつ取り替えのスペースが必要である。	No.20に同じ。
22	施設機能	資料館としての役割以外にも学生などが利用しやすいスペースをつくと若者に対して敷居が低くなると思う。	No.15に同じ。
23	施設機能	資料館ということなので、デザイン性が高い建物として、未来につながる建築物にしてほしい。	No.15に同じ。
24	施設機能	強い日差しや、雨などを避けられるアプローチなどは良いと思う。 カフェなどもあって便利。佐竹史料館、そんなに人が訪れていないと思うのだが、こんな大規模にする必要あるのか。	No.15に同じ。
25	施設機能	県外客のためにも、駐車場は無料となるようにしてほしい。	久保田城跡、千秋公園という立地を踏まえ、自家用車については、千秋公園又は近隣の駐車場の利用を想定しております。 なお、敷地内には、高齢者、身障者用駐車場4台分とタクシー、マイクロバスの待避所の整備を予定しております。
26	施設機能	今までの堅いイメージではなく、子供達の興味を引く造りになっていて良いと感じました。	
27	施設機能	外観に関しては、千秋公園の緑豊かな自然に溶け込むような色づかいなど配慮して欲しいと思います。	外観の色調などについては、設計段階で十分に配慮してまいります。
28	施設機能	冬期以外では、屋外にカフェを出して人を集めてはどうか。	No.15に同じ。
29	施設機能	ショップに関して、季節によって入館者数がかかなり違うように思います。 受付の人が兼務出来る形でもいいのでは。	ショップの管理・運営手法については、今後、検討を進めてまいります。
30	施設機能	軽飲食提供に関して、本格的な味を提供出来るクオリティの高い自動販売機を並べるのはどうでしょうか。	No.15に同じ。

No	項目	ご意見の概要	市の考え方・対応
31	展示計画	展示内容や、展示以外のソフトに関して、旧来の閉じたイメージの単なる資料展示にはならないようにしてほしい	いただいたご意見を踏まえ、展示手法等について検討してまいります。
32	展示計画	外部のキュレーターによる企画展や、ワークショップによって、埋もれた知を積極的に耕したり子どもが楽しんで学べるような仕掛けを提供する資料館や美術館も沢山あります。そういったものを参考にしてはどうでしょうか。	いただいたご意見を踏まえ、企画展等の事業について検討してまいります。
33	展示計画	かつての久保田城であった千秋公園の中に藩主佐竹氏の歴史を通して秋田市や様々な地域の歴史を学ぶことができる施設があることは子供から大人まで、いろいろな見方で歴史を探究することができると思います。 展示室のほかに広いホールもあるので、秋田駅前の特徴の一つとして、たくさんの方が訪れ、県外からの観光客にも紹介したくなるような施設にしてほしいです。	佐竹氏の歴史を通じ秋田、日本、様々な地域の歴史を学ぶことができる展示とするとともに、ホールにおいては、関連史跡、文化財、施設等を紹介するなど、秋田の歴史観光の拠点となる施設を目指してまいります。
34	展示計画	常陸時代の佐竹氏のところでは、秋田市内にある常陸とのつながりのある施設である「天徳寺」「金照寺」「金砂神社」などの紹介を行ってほしい。 併せて、常陸時代の本拠地であった、常陸太田市の紹介をしてほしい。 戊辰戦争の時、久保田藩のみが新政府側に付いた経緯なども詳細に紹介してほしい。佐竹家臣団の「今」も紹介してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、展示内容、企画展等の事業について検討してまいります。
35	展示計画	掘り下げた企画展として、真田家との関連（亀田藩に嫁いだ幸村の娘「お田の方」、幸村が身を隠したと言われる大館の「岩神貯水池」とその子孫、などを取り上げてほしい。	No.34に同じ。
36	展示計画	文字だけの説明でなく、様々な展示を予定されていて、とても楽しみです。	
37	展示計画	お城ブームを考慮して、佐竹義宣が転封される前の居城である水戸城や常陸太田城の城の作りの比較や違いなどにスポットを当ててもいいのではないかと。小田野直武を特集し、千秋美術館や県立美術館とのコラボで多くの観光客を呼び込んでほしい。	No.34に同じ。
38	展示計画	千秋公園に行った際には、必ず寄るような、寄ってみたい展示やイベントを行ってほしい。	No.34に同じ。
39	施設配置・間取	建物の規模に対して入り口が多すぎないでしょうか。それよりは子どもたちや学生がふらっと立ち寄れるようなスペースとして活用しやすい計画のほうが良いのでしょうか。	いただいたご意見を参考として、設計段階で検討してまいります。

No	項目	ご意見の概要	市の考え方・対応
40	施設配置・間取	入館者使用の階段が螺旋階段では危険である。動線が曲線で踊り場もなく、段板の幅が一定でなく、踏み外して転ぶ人が必ず出る。特に非常時を考慮すると、折り返し階段など公共の階段は安全が基本である。	螺旋階段については、バリアフリーの観点から設けず、折り返し階段の利便性を高める配置となるよう計画を変更しております。
41	施設配置・間取	トイレのスペースはWCマークの所だけでは狭い。車いす用は、共用トイレとは別に設置するようになったので検討が必要。また2階にトイレはないのか。ぜひ必要だと思う。	いただいたご意見を踏まえ、バリアフリーの観点から、設計段階で検討してまいります。
42	施設配置・間取	搬入口と収蔵庫、ホールとの関係が混み合っていて、特に長い物の搬入搬出がしづらいように思う。	収蔵保管部門については、安全な搬入搬出とともに借用資料等の一時保管、荷ほどき、梱包などの作業が可能なスペースを確保してまいります。
43	施設配置・間取	展示室2は細長で吹き抜けだが具体的な展示のイメージがあるのか。使い勝手はどうなのか。	受付から近い展示室は、展示の導入部としての活用を想定しております。
44	施設配置・間取	1階ホールの外壁がガラスになっていて、清掃と光熱費がかかり増しになると同時に、機械と機械室が大型にならざるを得ず、少子高齢化の今後の費用を考えると問題だと思う。	いただいたご意見を踏まえ、設計段階で検討してまいります。
45	施設配置・間取	身体障害者用の駐車スペースは、できるだけ入り口付近に設定してほしい。	No.44に同じ。
46	施設配置・間取	建物の規模に対して入口が多くて分かりづらいので、減らしてもらえると分かりやすくしてほしいと思う。	No.44に同じ。
47	施設配置・間取	屋上テラスは一見、眺望が望めるメリットがあるものの、雪国秋田を想定すると、利用できない期間が長かったり、雪寄せをしたりするデメリットの方が大きいと考えられる。したがって、風除けや雪除けの対策が必要ではないかと考えられる。	No.44に同じ。